

## ビッグモーター

自動車整備工場への行政処分は、法令違反の内容ごとに定められた点数を合計して決まる。民間車検場の指定を受けた工場は360点以上で最も重い「指定取り消し」に。ビッグモーターでは1万点を超えた工場が二つあり、桁外れだ。他の工場でも違反内容が似通っており、国土交通省は組織全体に共通した問題があると指摘している。

国交省や各運輸局によると、ビッグモーターでは記録簿の虚偽記載や車検項目

# 違反点数 桁外れ

の一部未実施などの違反が確認された。今回は社会的影響が大きい場合に合計点数を2倍にできる通則を適用。一斉立ち入り検査した

全34工場を処分対象とした。

そのうち32工場が民間車検場で、違反点数が最も多かったのは浜松南店（浜松

市）の1万3584点だった。点検・整備の一部をせず620台の車検を通すなどした。

次に多かったのは酒々井店（千葉県酒々井町）の1万3442点。586台でライトなどの動作確認を自

動車検査員の資格がない従業員がしたほか、立ち入り検査に虚偽の陳述をしたことも判明している。

浦和美園店（さいたま市）、名古屋茶屋店（名古屋市）、春日営業所（福岡県春日市）でも違反点数が千点を超えた。これらを含む12工場で指定が取り消される見通し。